

平成28年10月3日(月曜)長崎新聞

健診結果と診断違う

回答者

大賀 弘毅
おおが こうき
西彼時津町
おおが歯科クリニック院長

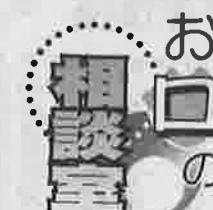


児童生徒を、聴覚や照明器具などが十分でない中、しかも限られた時間で行います。詳しい検査や診断を行うことは難しく、大まかなふるい分け検査として行われているのです。学校で行われるのは、「検診」ではなく、「健診」です。

学校健診では一度に大勢の児童生徒を、聴覚や照明器具などが十分でない中、しかも限られた時間で行います。詳しい検査や診断を行うことは難しく、大まかなふるい分け検査として行われているのです。その健診の結果、学校歯科健診票(歯科治療勧告書)を交付してかかりつけの歯科医院での確定検査、診断並びに治療を受けていただくよう

【問い合わせ】学校歯科健診の紙を学校からもらって、歯科を受診したら、健診票に書いてある結果と診断が違いました。なぜそういうことが起こるのでしょうか。(西彼時津町、41歳女性)

【答える】そもそも「けんしん」には健診と検診があり、健診は、健康か否かを診査するスクリーニング的な意味合があります。つまり大まかなふるい分け検査ということになります。もう一つの「検診」は、精密な検査をして診断するということになります。学校で行われるのは、「検診」ではなく、「健診」です。



に伝えていきます。

中には、健診票をもらつて

「どうして?」と不思議に思

われる保護者もいると思いま

すが、学校歯科健診の意義を

ご理解の上、かかりつけの歯

科で最終的に判断してもらう

ことをお勧めします。学校歯

科健診でむし歯がなく、「異

常なし」ということで治療勧

告書をもらわなくとも、定期

的に歯科医院で検診してもら

うのが一番安心ではないでし

ょうか。

子どもの口の中の問題は、

むし歯だけではありません。

歯肉炎、永久歯との生え替わ

りと歯並びの状態などさまざま

な問題を抱えていることがあります。

口の中の予防についてはインターネットや雑誌でも情報を得られますが、それが自分の子どもに当てはまるかどうかは別です。子どもの歯の健康は、かかりつけの歯科医による検診を受け、一緒に育んでいくことをお勧めします。

大まかなふるい分け検査

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

質問をどうぞ